

公益財団法人日本刀文化振興協会

平成 30 年度事業計画

(平成 30 年 12 月 1 日～平成 31 年 11 月 30 日)

1. 公益目的事業

① 第 12 回刀職者実技研修会<公 1>

会期：平成 31 年 8 月下旬の 3 日間

会場：坂城町中心市街地コミュニティセンター（長野県）

参加：5 職種各 6～8 名計約 35 名を予定

内容：日本刀に係る伝統技術の内、刀身作成・研磨・拵下地・金具作成・柄巻きの 5 職種を対象に、高度の専門職方を育成する為の技術・知識・意識教育。同時に講習の妨げにならない範囲で一般に公開し、日本刀及びこれに係る伝統技術の理解に供する。

② 刀剣類の保存に関わる部分修復技術研修会（研磨・白鞘・刀装具）<公 1>

（文化庁「平成 31 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として申請）

会場（開催時期）：佐野美術館（6 月 16 日（日）～19 日（水）の 4 日間を予定）

講師：予定 10 名 研修生：予定 8 名

③ 日本刀・刀装具鑑賞会、講演会、講習会<公 2>

1) 公開鑑賞会

開催回数：（予定）年 3 回

会場：神田公園区民館ほか

内容：日本刀・刀装具・拵等を、会員に限らず一般にも公開し広く鑑賞して貰う機会を作り、鑑賞の作法を教授したり、作品の解説を通して日本刀文化の普及に努めることとする。併せて、必ず初心者を対象とした解説も加える。

2) 特別鑑賞会（日本刀研究委員会鑑賞会）

開催回数：（予定）春秋各 1 回の年 2 回

会場：目白庭園「赤鳥庵」

内容：会員限定 20 名程度とし、日本刀・刀装具・拵等ともに名品を揃え、より専門的な解説を行い目の肥えた刀剣ファンの研究意欲に応えられる内容とする。

④ カルチャーセンターへの出講<公 2>

平成 30 年 10 月からよみうりカルチャー町田、北千住の 2 カ所への出講を予定。

その他、長野県のカルチャーセンターにも出講（刀文協後援）

目的：一般の方を対象に、作刀・研磨・拵・刀装具など日本刀に関する一通りの知識習得を目指し広く日本刀の文化普及に寄与するため。

⑤ 第 10 回新作日本刀 研磨 外装刀職技術展覧会<公 4>

共催：長野県埴科郡坂城町、坂城町鉄の展示館、信濃毎日新聞社

部門：作刀、研磨、外装、（押形）

会期：平成31年5月18日（土）～8月25日（日）

会場：長野県坂城町鉄の展示館

後援：文化庁、経済産業省（予定）他

授賞：文部科学大臣賞、経済産業大臣賞（予定）、

（特別賞）長野県知事賞、信濃毎日新聞社賞、坂城町町長賞

内容：作刀・彫金・研磨・刀装等日本刀に係る全ての伝統技術を対象に作品を公募し、厳正な審査を実施、優れた技術を顕彰し、高水準のコンクールとする。

更に、受賞作品を展覧すると共に、作品集やホームページにて広報し、現代の高い技術と日本刀文化をアピールする。

作品受付 平成31年4月4日（木）～4月6日（土）

作品撮影 同 4月7日（日）～4月9日（火）

審査会 同 4月10日（水）～4月12日（金）

展示 同 5月15日（水）～5月16日（木）

運営委員会 平成30年12月6日（木）

審査員選考委員会 平成30年12月

審査員会議 平成31年3月

授賞式及び懇親会 平成31年5月25日（土）

⑥ 第14回お守り刀展覧会（後援）〈公4〉 主催：全日本刀匠会

内容：全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展覧

後援内容：後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等

⑦ 「新作日本刀証明証」発行〈公6〉

内容：現代作家による真正の日本刀であることを証明するため、公益財団法人である当協会が「新作日本刀証明書」を発行する事業をスタートさせる

⑧ 刀文協・刀匠会・日刀保3団体合同「平成の名刀・名工展」開催

5月18日～来年2月2日まで（岡山・東京・長野にて巡回展）

2. 収益事業

①新作日本刀の販売〈収1〉

②日本刀・刀装具等の保存・修理の受託〈収2〉

- 1) 長野市（松代文化施設管理事務所）、まちづくり坂城（坂城町）、その他、紹介及び直接の問い合わせによる研磨・修理などの受託

3. その他

広報活動の強化

他文化機関と連携し、当協会より日本刀・刀装具に関する講師派遣を行ったり、積極的に「広報活動」を強化し、日本刀文化の認知度を高める活動を行う。併せて、新規会員増強を行う。

以上